

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
従事者支援	1	資格取得に向けた支援、継続的な能力開発の実施	44%	賛成	職員のスキル、モチベーションの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	11件	○各事業所における資格取得に係る助成額のうち1件当たりの最大額	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 ・「ない」事業所がある（制度がない、やっていない等々） 【新指標案】 ・研修ポイント制の導入とその評価 ・資格取得に必要な時間数 ・採用後、新たに資格取得した人数の割合 ・資格取得に向けた勉強会の実施状況 ・資格取得を目指している人数の割合
				賛成	指標にすることで資格取得促進が図られる	4件		
				賛成	指標が設定しやすい	2件		
				賛成	全ての事業所が資格取得を推進することで、資格取得後の転職を抑制できる	1件		
	2	専門的ケア習得に向けた外部研修参加への支援	44%	賛成	職員のスキル、モチベーションの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	9件	○研究発表の回数 ○研修助成金額	【賛成】 ・研修助成金額は適切 ・状態像の改善につながる 【意見】 ・研修発表が「ない」事業所がある（やっていない等々） ・指標が項目を評価するのに適切でない ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・内部研修の実行回数 ・外部研修参加数（外部講師を招いての内部研修含む） ・研修にかかる費用（参加費の負担＋外部講師謝礼金） ・岡山市主催の研修会への参加回数・時間数
				賛成	指標が設定しやすい	1件		
				賛成	人材育成の体制が整っていることは重要	3件		
	3	職員満足度の確保	67%	賛成	職員の満足度は、人員確保につながり、サービスが安定供給できる	14件	○満足度調査の結果	【賛成】 ・適切 ・状態像の改善につながる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・制度の有無（結婚や子育てに関する） ・設備の有無（職員の休憩場所の確保） ・人事評価制度の整備状況
				反対	実態と異なるデータになることが危惧される。指標化になじまない。	3件		
				反対	年代別で満足度の捉え方が異なるのではないか。指標化になじまない。	1件		
	4	職員が安心して働ける環境の整備	44%	賛成	労働条件の改善に寄与し、サービスの向上につながるため	6件	○従業員の平均有給取得率 (職歴に応じて決まっている有給の取得率(労基法上の取得推奨率))	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標が項目を評価するのに適切でない ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 【新指標案】 ・勤続年数(3年、5年以上の別合)、過去1年の退職者数 ・キャリアパス制度 ・残業時間の長短(短い方が良い) ・制度の有無(結婚や子育てに関する) ・第三者評価 ・岡山市が提示した目標値の達成度
				賛成	休暇制度、休暇取得の充実につながる	4件		
賛成				職員の育成につながる	1件			
賛成				労務管理につながる	1件			

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
介護技術	5	状態像の維持改善度 (自立に向けた取り組み)	56%	賛成	自立を目指すために重要である	10件	○ADL維持改善率 ○IADL維持改善率 <計算式> 維持・改善人数/サービスを受けた利用者	【賛成】 ・指標が明確または簡易 ・状態像の改善に繋がる ・適切 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・利用者満足度 ・身体能力評価テスト ・要介護度の変化
				賛成	数値化しやすいため、主観的な指標が設定できる	5件		
				賛成	維持を評価することは重要である	1件		
				意見	評価項目としては良いが、統一的な評価基準の設定が重要	1件		
	6	加算対象サービス以外の提供	56%	賛成	加算以外のサービスの充実につながる	7件	○加算対象サービス以外で行っているサービスの種類	【賛成】 ・指標が明確または簡易 ・状態像の改善に繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・5段階（1～5点）の満足度調査 ・所外活動加算、時間・回数の記録
				賛成	状態の維持・改善につながる	3件		
				賛成	事業所が実施可能な項目であるため	1件		
				賛成	加算対象サービス以外が評価されれば、事業所の利益、職員の給与アップにつながる	1件		
	7	専門的な認知症ケアの提供	33%	賛成	状態の維持・改善につながる	3件	○認知症実践研修への参加人数 ○認知症の調査の件数割合 (長谷川式、DASC、浦上式、等)	【賛成】 ・適切 ・状態像の改善に繋がる 【意見】 なし 【新指標案】 ・検査実施により実態把握 ・実践研修等専門家の育成 ・家族アンケート ・岡山市主催の研修会への参加回数・時間数
				賛成	高齢者の認知症対策は必須である	4件		
賛成				認知症の利用者が多いため	1件			
8	自己評価の実施	0%	賛成	質の向上につながり、指標として適切である	2件	○内部評価実施人数 (キャリア段位における申請者数)	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし	
			賛成	内部評価、自己評価の実施の促進につながる	1件			
9	キャリア段位制度への参加	0%	賛成	介護技術の向上につながる	2件	○キャリア段位研修会参加人数	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし	
10	利用満足度調査の実施等による利用者の意見の収集	56%	賛成	利用者ニーズを把握することで、サービスの向上につながる	10件	○利用者満足度調査の公表率 ○利用者満足度調査の結果	【賛成】 ・利用者の状態に応じたサービスにつながる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・利用者からの調査票の回収率	
			賛成	満足度の把握は、利用者及び家族のモチベーション向上策につなげることができる	1件			
			賛成	未実施事業所の実施促進につながるため	1件			
			反対	結果の信憑性が疑問である	1件			

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目 選択率	項目の 賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
事業者の意識向上	11	職員のうち、個別機能訓練加算の対象となる国家資格取得者の配置人数 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師)	56%	賛成	専門職の配置すること、適切な訓練の実施が可能となり、利用者の状態の維持・改善につながる	13件	○機能訓練指導員について、国家資格の職種数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 ・適切 【意見】 ・反対 【新指標案】 ・介護度や疾病に応じた訓練内容を評価する指標 ・機能訓練の結果で評価 ・機能訓練指導員について、国家資格の職種数及び経験年数 ・専門職員／定員 ・利用者数、介護度別に対する職員数または改善率という割合
				賛成	指導員の役割が明確化できる	1件		
				反対	施設の規模による差が大きいなど、評価項目には馴染まない	2件		
				反対	既に加算で評価されているため、評価項目には馴染まない	1件		
				反対	指導員に資格要件がないため、国家資格で評価する必要はない	1件		
	12	生活相談員の体制	0%	賛成	相談員に資格の有無は重要と思われる	2件	○生活相談員のうち、常勤の社会福祉士がいるか、非常勤の社会福祉士がいるか、社会福祉士がいないかの3択 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	現行では、相談員に関する評価がされていないため有効と思われる	1件		
				賛成	介護福祉士の配置数増加につながる	1件		
				反対	職種を指標にするより、勤続年数の方が良い	1件		
				意見	介護支援専門員でも良いのではないか	3件		
	13	介護職員の体制	67%	賛成	介護福祉士の配置が充実することで、ケアの充実につながる	11件	○介護福祉士人数／介護職員数 ※人数の考え方は、公表されている事業所情報に準じて計算	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 ・指標の調査項目の定義に注意 【新指標案】 ・利用者数、介護度別に対する職員数または改善率の割合 ・研修の参加率
				賛成	介護福祉士の配置数増加につながる	2件		
				賛成	指標化しやすい	1件		
				賛成	介護福祉士の報酬増加につながる	1件		
				意見	介護福祉士はもっと評価されるべき	1件		
				反対	介護職員に介護福祉士の割合が多いことが良いサービスに繋がるわけではない	1件		
				反対	既に加算で評価されているため、評価項目には馴染まない	1件		

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目 選択率	項目の 賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
事業者の意識向上	14	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師又は准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、社会福祉士、介護福祉以外の専門職の配置人数	11%	賛成	職員のスキルの向上が見込まれ、その結果サービスの向上にもつながる	2件	○歯科衛生士、管理栄養士、音楽療法士、認知症ケア専門士等の職種数	【賛成】 なし 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	既存の専門職以外の活用が図られるべき	2件		
				賛成	D Sを差別化するために必要	1件		
	15	実習生の受け入れ	44%	賛成	未来のスタッフ養成は評価すべき	4件	○受け入れ延べ人数／定員 ○受け入れ日数	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査項目の定義、調査方法に注意が必要 【新指標案】 なし
				賛成	受け入れることで、事業所の意識、スキルの向上につながる	2件		
				賛成	地域貢献の一環として促進すべき	1件		
				賛成	サービスの安定供給につながる	1件		
				意見	資格の取得状況が学校によってことなるので、評価項目にするのは難しいのではないか	1件		
	反対	養成機関が主導になるため、評価項目に馴染まない	1件					
	16	利用者がくつろげる環境の整備、事業所全体の雰囲気の快適性への配慮	56%	賛成	利用者が心地よく過ごせる環境は重要	7件	○食堂及び機能訓練室について、併せた面積と利用定員の商の値 (指定基準は3平方メートル×利用定員)	【賛成】 ・適切 ・状態像の改善に繋がる ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし
				賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	5件		
				賛成	評価項目として適切	3件		
17	状態像の維持改善を図るための機器等の充実	44%	賛成	利用者の状態の維持・改善につながる	11件	○機能訓練用の機器類及びレクリエーション用の機器の種類 ○定員数に対する機器の配置数	【賛成】 なし 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・アセスメントの充実具合 ・メニュー、プログラムの実施頻度、回数、量、時間 ・複数のメニュー、プログラムの有無 ・機器の配置数 ・訓練、休憩所スペース	
			賛成	自立支援のための設備の充実が重要	4件			
			賛成	機器等の充実は、安定的な経営の根拠となるため	1件			
			反対	施設の規模による差が大きいなど、評価項目には馴染まない	1件			

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目 選択率	項目の 賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
事業者の意識向上	18	広報紙の定期的な発行	22%	賛成	利用者の増加が図られる	3件	○年間の発行数	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 ・利用者の状態に応じたサービスに繋がる 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 なし
				賛成	指標として適切	2件		
				賛成	事業所の取り組みを周知でき、意見が入ってくることによって事業所のレベル向上につながる	2件		
				賛成	広報紙の発行部数、回数増加の促進が図られる	2件		
				賛成	利用者の選択の幅が広がる	2件		
				賛成	事業所自身の自己研鑽に寄与する	1件		
事業者の意識向上	19	事業所情報開示に向けた取組	44%	賛成	利用者の選択の幅が広がる	6件	○県が管理する事業所検索HPにおける任意事項の記載数	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・HPの更新回数 ・介護情報誌の発刊
				賛成	事業者の責任意識の向上につながる	1件		
事業者の意識向上	20	医療機関との連携（急変時、精神科（認知症）、歯科医）	33%	賛成	利用者の安心につながる	7件	○緊急搬送先を把握している利用者の人数	【賛成】 ・利用者の状態に応じたサービスにつながる 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・意見書や検査結果の提供を受けているか ・情報共有した記録物 ・救急搬送できる医療機関数
				賛成	D Sにとって医療機関との連携は必須	4件		

H26.2.4及び2.7 デイサービス改善インセンティブ事業説明会グループワーク集計結果

H26.2.14作成

大項目	番号	評価項目	項目選択率	項目の賛否等	個人の選定理由・意見等	件数	岡山市指標（案）	賛否等
地域住民の意識向上	21	地域社会との交流（地域行事の参加等）	11%	賛成	地域との交流・連携は重要	4件	○地域住民が参加可能な施設内行事の実施回数（/年）	【賛成】 ・適切 【意見】 なし 【新指標案】 なし
				賛成	地域で支えることが重要	2件		
				賛成	利用者の社会交流の場を増やすことにつながる	2件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
	22	地域住民の介護体験やボランティアの積極的な受け入れ	67%	賛成	地域住民の介護に対する理解を深めることにつながる	9件	○延べ人数/定員	【賛成】 ・適切 ・指標が明確または簡易 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・受入回数 ・受入の延べ団体数
				賛成	利用者のリフレッシュにつながる	3件		
				賛成	サービス内容を透明化することで、内容の充実に繋がる	2件		
				反対	評価項目に馴染まない	1件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
	23	家族会、介護教室の開催	33%	賛成	家族がDSでの利用者の状況を把握することで介護への理解が深まる	5件	○開催日数	【賛成】 ・適切 ・状態像の改善につながる ・指標が明確または簡易 【意見】 ・指標の調査の仕方に注意 【新指標案】 ・登録者数に対する参加割合
				賛成	地域住民の意識改革につながる	2件		
				賛成	現在取り組みを行っていない事業所の開催促進につながる	2件		
				賛成	利用者及び家族が安心してサービスを受けることができる	2件		
				賛成	利用者の自宅での様子が把握できる	1件		
				反対	地域住民の意識向上は不要	1件		
	24	利用者、・家族等との適切なコミュニケーション	56%	賛成	事業者と利用者・家族との理解が深まり、サービスの質の向上に繋がる	7件	○利用者懇談会の開催件数（/年） ○家族への意思決定支援件数	【賛成】 ・適切 【意見】 ・指標の調査項目の定義に注意 ・指標が項目を評価するのに適切でない 【新指標案】 ・広報紙の発行回数 ・相談件数 ・連絡帳の利用 ・利用者家族へのアンケート調査実施有無、結果 ・担当者会議への参加件数
賛成				情報共有は重要	5件			
反対				地域住民の意識向上は不要	1件			
反対				数字に表れないものもあるため、評価項目には馴染まない	1件			